



自然の恵みと先人たちの知恵。

食

日本の食文化を見直してみよう。



連作が可能な米。水田が持つ環境

農

保全の役割って、大きいよね？



エコシステムとしての水田稲作。

環境

その知恵をもう一度、学ばねば。



言葉じゃなかった。一緒に考え

異文化交流

行動する。そこから始めよう。



❖ 地球環境米米フォーラム in 三河安城

田植えフェスティバル

5月22日・23日

デンパーク南田んぼほか

先月22日・23日の2日間、世界66か国の外交官と、安城市をはじめとする近隣6市市民が参加して「愛・地球博プレイベント 地球環境米米フォーラムin 三河安城 田植えフェスティバル」が開催されました。

時折、小雨が降るあいにくの天候にもかかわらず、国際色豊かで華やかな田植えにより異文化交流の輪が広がりました。



米米フォーラムとは？

来年の「愛・地球博」のプレイベントで、駐日外交官らを招待して、市民と一緒に田植え・稲刈りを体験していただき、稲作文化の良さや環境面への貢献度を理解していただくものです。外交官の皆さんにはホームステイしていただき、市民の手作りによる国際交流事業も展開します。今回の安城市で6回目の開催。





10月2日・3日 稲刈りフェスティバルで また、会いましょう



三河安城駅でお出迎え（22日）



開会式、ホストファミリーとご対面、アトラクション（22日／市民会館）



交流会（23日／JAあいち中央選果場ほか）



「田植えコンテスト」グランプリ
ミャンマー大使と杉浦さん一家

ミャンマー大使とその息子さんの話
「腰を痛めていましたが、日本の湿布を貼ってがんばりました。また、秋の稲刈りも必ず来ます」
「わたしが植え終えたときに、父はまだ3分の1しか植えてなかったんですよ（笑）。今回の勝利は、ホストファミリーの皆さんのおかげですね」

